



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度

国際ロータリー第2790地区

君津ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日
12:30PM～13:30PM
例会場 ホテル千成
Tel:0439-52-8511

事務局
〒299-1144君津市東坂田1-3-3-304
Tel:0439-52-8882
Fax:0439-20-8880

No.2034 2018.1.27(インターシティミーティング・移動例会)
Vol. 24回 No.2035 2018.2.5

平成30年2月 第1例会 晴

点 鐘 隈元 雅博会長
国 家 斉 唱 君が代
R ソ ン グ 奉仕の理想
四つのテスト 齋藤 孝弘会員

【出席報告】 免除者4名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2035	59	56	54	2	96.42 %
2034	59	55	54	1	98.18 %
前々回の修正	メイクアップ0名				88.88 %

(敬称略)

会長挨拶及び報告

隈元雅博会長

皆さん、こんにちは。

受験シーズン真っ盛りですが、皆様のご家族の中でも最後の追い込みをかけられているお子さんやお孫さんもいらっしゃるのではないのでしょうか？

ご存じのように、この地域はたくさんの高校や専門学校があります。

昨年10月末に行われました高専ロボコン2017関東甲信越地区大会において木更津高専の2チームが活躍した様子がNHKで放送されていました。木更津高専は昨年5月に第12回大学対抗・情報危機管理コンテストにて東大や早大を退け優勝し再優秀賞を受賞しております。

高校では、一昨年前ではありますが、ロサンゼルスで行われた大会で優勝した君津翔凛高校のチアダンス部、スーパーサイエンスハイスクールに認定された木更津高校、袖ヶ浦高校の書道部の活躍、木更津総合高校の和太鼓、紅陵学園のブラスバンド部の活躍など、数え上げると枚挙にいとまがありません。

1月2日、3日に毎年開催される箱根駅伝、今年は100回記念となる全国高校野球大会などの部活動や一心不乱に目標に向かって努力する姿をみて感動するのは皆同じではないのでしょうか。受験勉強もそうですが、若い世代、次の世代の人たちが努力をして報われる平和で心豊かな社会。

その実現のために私達ロータリアンも一生懸命に

地域貢献と世界平和活動に努めていこうではありませんか。

子や孫の為、世界で暮らす人々の為、また次の世代のその次の世代に生まれてくる子供たちの為の豊かな社会を目指して共にロータリー活動に邁進していきましょう。

本日も皆様と共にロータリー活動を行えることに感謝いたします。

報 告

- 1月24日(水) 千葉北RC創立20周年記念式典が開催され、当クラブからは、阿部昭広会員・鈴木会員が出席しました。お疲れ様でした。
- 1月27日(土) 第4分区インターシティミーティングが開催されました。当クラブからは、23名が出席しました。お疲れ様でした。後程、荒井幹事より報告して頂きます。
- 1月30日(火) かずさ青年会議所、新年例会に私(隈元会長)が出席してきました。
- 2月2日(金) 第46回君津市社会福祉大会が開催され、表彰式に早見副会長が出席されました。お疲れ様でした。
- 2月4日(日) ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年記念式典が開催されました。当クラブからは、私(隈元会長)・R財団委員会 時下委員長・吉野会員・黒岩会員が出席しました。お疲れ様でした。
- ガバナーエレクト事務所より仮委嘱状が届いております。

RYLA委員会 委員長 黒岩会員
米山記念奨学委員会 鈴木会員
職業奉仕委員会 内藤会員

7. 公益財団法人ロータリー財団へ寄付された、時下会員・早見会員へボールハリスフェローのバッチ、認定証が届いておりますのでお渡しします。

幹 事 報 告

荒井潤一郎幹事

1. 2月10日(土) ロータリー財団補助金管理セミナーが開催されます。

場 所: TKP ガーデンシティ千葉

国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリ会

ガバナー 寺嶋 哲夫

ガバナー補佐 内田 稔

長 隈元 雅博

会長エレクト 永 巖 嘉嗣

副会長 早見 秀一

幹 事 荒井 潤一郎

編 集 倉 繁 裕

時 間：12時30分登録 13時開始

15時55分閉会

当クラブからは、次年度ロータリー財団委員長
大川会員、次年度ガバナー補佐 吉野会員、次年度幹事 岡野会員が出席します。

2. 2月12日（月）RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）part I が開催されます。

場 所：千葉市民会館 地下1階小ホール

時 間：9時40分受付開始 10時10分開始

18時10分閉会

当クラブからは、黒岩会員・岡野会員・大住会員・武田会員・福田会員・佐々木会員が出席します。

3. 2月17日（土）～18日（日）第41回RYLAセミナーが開催されます。

場 所：リソル生命の森 一泊二日

当クラブからは、地区RYLA委員長 阿部昭広会員、RYLA実行委員会委員 吉野会員・黒岩会員・岡野会員・佐々木会員、参加ロータリアンとして、福田会員・平野会員・村上会員、参加青少年として木信産業（株）の坂部様、三木造園土木（株）の大森様と刈込様が参加されます。宜しくお願いします。

4. 1月27日（土）第4分区インターシティミーティングが開催されましたのでご報告致します。

R I 第2790地区4分区

インターシティミーティング（IM）

会 場：かずさアカデミアホール

日 時：1月27日（土）14時15分 点鐘

1) 特別講演

演題「オーガニックなまちづくり」

講演者 木更津市長 渡辺芳邦氏（木更津RC名誉会員）

木更津市の現状もわかり、進んでいく方向性も理解できる講演でした。

2) クラブ活動状況トピックス

富津シティRC

木更津RC

上総RC

3) 当、君津RCから

次期ホストクラブ 隈元会長 挨拶

次期ガバナー補佐 吉野会員 挨拶

お二方の、素晴らしい挨拶でプログラムが終了しました。

4) 懇親会に出席

〈回 覧〉

1. 君津RC週報
2. 第4分区週報

3. 甲府東RCとの合同例会及び懇親会の出欠の案内

4. スリランカセミナーの出欠の案内

5. 2018年決議審議会立法案提出のご案内

6. RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）part II の出欠の案内

7. 財団室NEWS（2月号）

8. ロータリー手帳の申込みについて（2018－2019年度版）

〈配布物〉

1. 例会プログラム
2. ガバナー月信2月号
3. ロータリー日本財団及びロータリー米山記念奨学会の確定申告用領収書
4. 八重原中出前教室の講師へお礼のお手紙

委 員 会 報 告

親 睦 委 員 会

2月の誕生祝・私の記念日

2月の誕生祝

岡野 祐	S. 41. 2. 3
隈元 雅博	S. 41. 2. 13
永嶋 嘉嗣	S. 28. 2. 18
中村 圭一	S. 32. 2. 18
大浦 芳弘	S. 35. 2. 22
早見 秀一	S. 39. 2. 23

2月の私の記念日

喜多見 貴	H. 8. 2. 3
宮本 茂一	S. 58. 2. 6
時下 俊一	S. 60. 2. 10



プ ロ グ ラ ム

クラブ協議会（下期活動計画）

青少年奉仕委員会

阿部昭広委員長

1. ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）への参加

日 程：平成30年2月17日（土）

～18日（日）1泊2日

場 所：リソル生命の森（長生郡長柄町）

参 加：参加会員3名（平野副委員長・村上
会員・福田会員）

参加青少年3名

実行委員4名（吉野会員・黒岩会
員・岡野会員・佐々木会員）

2. RC杯少年野球大会への協力・支援

日 程：平成30年5月

内 容：メダル寄贈およびメダル授与式への
参加

以上の活動を計画しています。

皆さまのご協力をお願いいたします。

※次年度RYLAセミナー

2019年2月2日（土）・3日（日）

岩井海岸

ロータリー財団委員会

内藤智介委員

ロータリー財団委員会の下期活動計画ですが、君
津RCでは年次寄付やポリオプラスへの指定寄付
等が大変スムーズに進んでおり、活動計画の内、残
すはクラブ認証ポイントを活用してのポールハリス
フェローの拡大のみとなっています。今のところ個
別にお問い合わせの方からも快いお返事を頂いておりま
す。また希望の方がいらっしゃいましたらお気軽に
お声がけください。よろしくお願いします。

会員卓話「スリランカへの国際奉仕活動について」

国際奉仕委員会 大住昌弘委員長

スリランカ訪問について

～コスモス奨学金の里親さん達と～

2018年1月13日（土）～18日（木）

当クラブのスリランカへの
国際奉仕活動は、柏東RCの
方から同国北部の水事情の悪
さ（写真①、②）と、コスモ
ス奨学金の活動を聞いたこと
がきっかけになった。（昨年
10月30日に、同クラブ中村氏
とサジーさんから卓話をいた
だく。サジーさんから遅れて
原稿が届いたので今回週報に掲載）

先月13日（土）出発から18日（木）帰国まで、
コスモス奨学金の里親さん達の同国訪問に合わせ、
鈴木直前会長と行動を共にした。

報告の前にスリランカ国とコスモス奨学金の概況
を説明する。スリランカの国旗は、人口の7割の
シンハラ人、仏教をあらわす部分が面積の2／3を
占め、残りの半分ずつをタミル人（主にヒンドゥー



教)、アラブ系（主にイスラム教）をあらわす構成
となっており、同国の国情を典型的に示している。
歴史の古い国だが、第2次世界大戦直後に独立する
まで17世紀から約450年間、ほぼ150年ずつ、ポル
トガル、オランダ（この2国には国土の一部）、イ
ギリス（全土）に植民地化され、また、2009年ま
で26年にわたる内戦（タミル人過激派とシンハラ
人重用政策をとる政府との戦い。インド政府も絡み
長期化）に苦しんだ。これらは、現在の政治・経済
情勢に対して影響が大きいものと思う。内戦終結以
降、特に中国からの政治的な意図を含んだ開発援助
に頼らざるを得ない模様。

・主要な日程は以下の通り

1月13日（土）

11時20分 成田発→17時50分 コロンボ着（10時
間）（空港に鈴木先生、アマラワンサ師、少年2
名出迎え）

→ガンパハのホテルに移動し、先発組19人と合
流（20時頃）

14日（日）8時出発

→ガンパハ近郊のスリ・プンニャワルダナラマヤ
寺院（コスモス奨学金拠点）にて、奨学金授与式参
加、里子たちと弁当

14時頃 出発→シーギリヤのホテルに移動（18時頃
着）

15日（月）8時出発

→ボロンナルワのお寺（支部）訪問、式典参加（奨
学金授与、浄水器贈呈、サッカー器具、楽器贈
呈）

13時頃 出発→近くの小学校訪問（浄水器贈呈）

=昼食抜き

→里子宅（4軒）を訪問しつつ、シーギリヤのホ
テル着（20時頃）

16日（火）8時出発

→シーギリヤロックのフォトスポットにて写真→
里子宅訪問（3軒）

→15時頃 仏歯寺の見える丘のレストランで昼食

→里子宅訪問（1軒）

→ニゴンボのホテル着（21時頃）

17日（水）8時30分 出発

→コロンボにて土産物購入

→コスモス奨学金鈴木先生と親交のある中国仏教
友好協会

プロボディーニ女史宅にて昼食

→15時 日本大使館訪問／田中館員に活動報告・
協力要請

→16時30分 カリヤワサム教育大臣（初等・中等
教育）公邸訪問、活動報告・協力要請

19時50分 コロンボ発→18日（木）7時30分 成田

着（8時間）

・主要な行事等は以下の通り

○ガンパハ近郊での奨学金授与式

コスモス奨学金の現地事務局のあるお寺で開催。司会は里子代表の男女学生で、しっかりした態度が印象的。お寺の偉いお坊さん、教育省の代表者、中国との仏教友好協会の代表者などが、コスモス奨学金の活動などをたたえ、里子たちに立派な大人になってお国の役に立ち、奨学金への恩返しをすること、など皆さん長い演説。参加した里子達全員に学用品など授与。授与されたリュックには学用品などがいっぱい入っておりずっしり重く、小さい女兒はひっくりかえりそうになっていた。日本から参加した里親さん達も一人ひとり挨拶をし、サジーさんがシンハラ語に翻訳。参加者の話では、昨年まではこのお寺1カ所で行ったため、里子の親たちも含め300人近い参加者となり、テントを張って開催した。暑い中で一人ひとりに授与する長時間の行事となり、大変だったとか。今年は数カ所で分散し、屋内で比較的短い（それでも3時間位）時間ですんだとか。（写真③、④、⑤、⑥）尚、この授与式の模様は、1月18日付の現地の英字新聞のTOPに掲載されるなど、6紙に掲載された。

○ボロンナルワのお寺で奨学金授与式、浄水器などの贈呈式（近くの小学校も訪問）

奨学金の第一期里子だった教師が司会。浄水器は近くの学校8校に贈呈するが、当日は入学式などが行われる日に当たり、多忙のため6校の校長等が参加した。（写真⑦）訪れた小学校（写真⑧）では、生活が厳しいのか裸足の子も何人いたが、皆明るく目が輝いていた。

この浄水器で、子供たちが少なくとも学校にいる間は、比較的きれいな水を飲み健康的な学習時間が取れることを望む。

○里子達の自宅訪問

3グループに分かれ、小型バスに分乗。それぞれ、サジーさん、メルビンさん、現地ガイドが通訳となる。私たちまで接足礼をうけ戸惑う。里親さんからのお土産や写真などを受け取る里子達は嬉しそう。はにかみも交え、笑顔を返す。里親に向けた手紙を前日23時頃まで掛かって日本語で書いた里子もいた。我々が訪れた里子達は自分の机や部屋があったが部屋に裸電球一つしかなく、勉強するには暗い。勉強を頑張るように、と里親。辞書がないと言えば送る、電力事情が悪いので太陽光充電型の電灯をあげたいとの声も出る。スリランカの一般的な給料は2万～3万ルピー（14千円～21千円）／月と聞くと、定職がなく4千

ルピーという家もあった。椰子のジュースやビスケットを出され、申し訳ない気持ちになる。里親に聞いた通り、どの家も貧しいながら屋内外ともきちんと掃除され、庭もよく手入れされていた。彼らは日常裸足で生活しており、我々が靴のままでは家に上がるのは躊躇された。

○日本大使館（写真⑩）、教育大臣公邸訪問

コスモス奨学金の活動の説明と協力要請をおこなったが、双方とも丁寧に受け止めてくれた模様。教育大臣は日本の食べ物や観光関連の情報はよく聞いているようであった。

○人 物

移動中の車中で、コスモス奨学金副代表の野口先生からジャヤワルダナ氏について本を書かれたと聞いた。同氏はサンフランシスコ講和会議で日本を国際社会に復活させる後押しをした有名な演説をし、その後も日本の皇室や仏教界含め親交を深めた。里親の一人は昨年スリランカ訪問の帰りにコスモス奨学金の一行と飛行機が一緒になり、この話を聞き里親になることにしたという。スリランカ人は敬虔な仏教徒が多く、日本に対し好意的な感情を持つ人も多いという。こうした両国関係は、恥ずかしながら私はよく理解していなかったし多くの日本人も知らない事かと思う。

○観光地、街並みなど

訪れた町のうち、近代都市化され高速道路や高層ビルはコロomboでしか認められなかったが、そのコロomboでさえ、川のほとりで我々のバスの横に姿を現しびっくりした。（写真⑪）地方都市では、野生の像がジャングルから出てきて、好物の塩などをもとめて人家を荒らし、場合によっては死者も出るとのこと。里子の親にもそうした犠牲者がいるようだ。

観光はシーギリヤロックを遠くで写真を撮ったぐらいであったが、スリランカは欧米人にも人気の様で、内戦が終結して10年目を迎え、今後さらに主要産業に発展するように思う。次回訪問時には、ゆっくり観光地もめぐってみたい。

・総 括

○スリランカは貧しい国で対外債務に苦しんでいるため、十分な資金が教育に割けない状況の様である。コスモス奨学金の里子達にみられるように、向学心は強いが健康面でも厳しい生活を強いられている子供達が多い。今回の浄水器の寄贈はまだまだ一部の学校に限られており、ジャヤワルダナ氏の功績や両国関係についての啓蒙活動も含め、当クラブとして継続的な活動が必要と考える。また、コスモス奨学金の里親制度の紹介や、有志に呼びかけ同奨学金基金に参画したい。

- 正式国名：スリランカ民主社会主義共和国
- 面積：6万5,607km²(北海道の0.8倍)
- 人口：2,103万人(2016年)
- 民族：シンハラ人(75%)、タミル人(15%)、スリランカ・ムーア人(9%)、他
- 言語：公用語(シンハラ語、タミル語)、連結語(議会の審議、議事録等＝英語)
- 宗教：仏教徒(70%)、ヒンドゥー教徒(13%)、イスラム教(10%)、キリスト教(8%)
- 通貨：スリランカ・ルピー
(1Rs=0.71円/2018.1.26)(3%)

スリランカ国旗

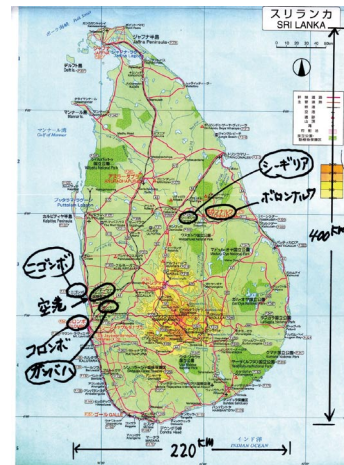


- GDP：805億ドル→一人当たり3,835ドル
(112位、2016年)
日本＝49,365→38,882(22位)
タイ＝4,071→5,901(88位)
インドネシア＝9,325→3,604(116位)
ベトナム＝2,013→2,171(138位)
- 輸出：アメリカ(27%)、英国(10%)、インド(5%)、他
- 輸入：インド(22%)、中国(20%)、シンガポール(6%)
- 主要援助国：中国(27%)、日本(10%)、オランダ(3%)



コスモス奨学金について

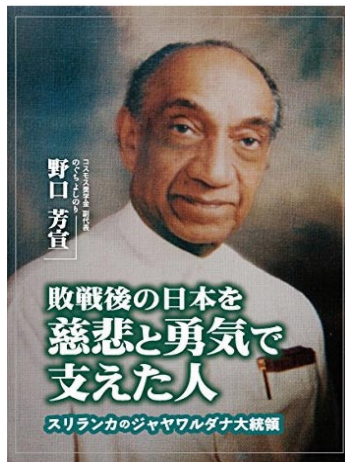
- 設立：2006年、鈴木康夫氏と五木田恭子が設立
- 名称と構成
Cosmos Scholarship(コスモス奨学金)といい、基金と里親～里子制度で構成される。
- 目的
優れた才能を持ちながらも経済的に恵まれず勉学が困難なスリランカの子どもたちへ教育支援をすることを目的とする。
- 里子の選考
居住する地区のお寺、村長、通学する学校の校長より推薦された子どもの中から事務局が選考する。
(2017年7月現在 里子248名、里親214名)
- 教育支援の期間
原則として、**小学校5年生から13年生まで**の学生を対象とし、各年1月から12月までを年度として支援する。
1,000円/月→12千円/年にて継続支援が前提。
- 事務経費
 - 日本における事務経費はすべてボランティアで行なう。
 - スリランカにおける事務経費は、「コスモス基金」の運用益を充てる。
 - 会員が納入した教育委支援金は、全額、子供の支援に充てる。
- 日本における事務局
〒283-0005 千葉県東金市田間1403
代表：鈴木康夫氏、
副代表：五木田恭子氏、野口芳宣氏
事務局員：メルビン氏、サジー氏
- スリランカにおける事務局
スリ・ブンニャワ



ジャヤワルダナ氏(1906～1996)について

- スリランカ初代大統領(1978～1989)
- 1951年、サンフランシスコ講和会議にセイロン代表(蔵相)として出席した。(日本の分割統治をめぐって、米ソが対立)
- その際の会議演説でジャヤワルダナ氏は、「日本の掲げた理想(大東亜共栄圏)に独立を望むアジアの人々が共感を覚えたことを忘れないで欲しい」と述べ、また、「憎悪は憎悪によって止むことなく、慈愛によって止む」という法句経の一節を引用して、セイロン(現スリランカ)は日本に対する賠償請求を放棄する旨の演説を行って各国の賛同を得、日本が国際社会に復帰できる道筋を作った。

- これに対し、当時、日本のみならず世界中のマスコミや、日本の仏教界から賞賛を与えられた。
- 親日家として知られ、公式非公式を含め7回訪日。
- 1996年、死去に際し献眼、角膜提供。「右目はスリランカ人に、左目は日本人に」との遺言により、片目は日本に贈られ群馬県の女性に移植された。





松戸西RC米山奨学生（2011年～2013年）

サジーワニー ディサーナーヤカ様

皆様こんにちは、

米山学友のサジーと申します。

本日は、君津RCにて卓話をする機会を作ってくださった、国際奉仕委員長の大住様や鈴木壮一様には心から感謝申し上げます。

本日は、地区職業奉仕委員長の中村俊人様と一緒に君津RCの例会へ参加をさせていただきました。私は米山奨学生のころ地区米山委員であった君津RCの三浦様に初めてお会い致しました。本日は、6年ぶりにお会い致しましたが、大変ご無沙汰をしていました。三浦様にお会いしたところから、君津RCへ訪問してくださいとのことでしたが、なかなか参加できる機会がございましたが、本日皆様とお目にかかることができました大変うれしく思います。

私のロータリアンとの出会いは、私が米山奨学生として、世話クラブの松戸西RCと千葉県にある他のクラブのロータリアンの方々にお会いした時にさかのぼります。ロータリアンから頂いた奨学金は、私の大学での学費や研究、また日本での生活のための大きな宝でした。この宝がなければ、私は博士課程の研究を続けることができなかったと思います。ですから、私が博士課程を修了できたのは、ロータリアンのお蔭です。ロータリアンの皆様には心より感謝申し上げます。

2011年5月からロータリアンの皆様のおかげで、ロータリー米山奨学金をいただき、千葉大学大学院で勉強させていただきました。皆様のおかげで2015年の3月、博士課程を終了し、大学を卒業しました。心より感謝申し上げます。私はロータリー奨学金をいただくまで他の奨学金をもらっておらず、大変困っておりました。ずっと雨が降らなかった砂漠に急に降りだした雨のように、米山奨学金を頂きました。そのご恩に報いるために一生懸命勉強して博士号をいただくことができました。言葉では、言い表せないほど皆様方に感謝しております。

2005年、千葉大学人文社会科学部研究科にて、日本語教育と日本文化について研究を行い、2009年修士課程を修了しました。その後、ロータリー奨学金をいただいて2015年の3月末に博士号の学位を取得し、千葉大学大学院人文社会科学部化学研究科を卒業しました。博士号の学位を取得してから2016年4月まで東京STG国際学院（日本語学校）の日本語教師として勤めておりました。現在、千葉大学人文社会科学部研究科の特別研究員です。さらに、山武市役所の非常勤職員としても活動しています。千葉県山武市は、2020年に行われる東京オリンピックのために、スリランカの選手を支援する事を表明

し、現在その活動を積極的に推進しています。私と夫は山武市長や関係者の皆様から要請を受け、山武市役所の国際交流や学校教育の担当部署に在籍しています。

山武市役所では、総務部市民自治支援課の非常勤職員として、山武市内の日本人と外国人とその子ども達への支援、日本語教育のサポートなどもしています。山武市は2020年東京オリンピックでのスリランカ選手団のホストタウンになっており、現在様々な取り組みを行っています。例えば、山武市青少年スリランカ派遣事業のプログラムでは、山武市内の中学生と高校生がスリランカを訪問したりしています。また、スリランカの中学生と高校生を日本に招聘するプログラムなどもあります。私はこれらの事業のサポートをしている他、市内の小学校の児童保育で英語教師として教壇に立ったり、山武市の国際交流組織である『さんむグローバルセンター』の副理事長として活動をしながら支援部会で、シンハラ語と日本語の講師をしたりしています。ロータリー奨学金をいただいたおかげで山武市とスリランカの架け橋になることもできました。

私の日本での留学生活と勉強において、子供の頃からお世話になっている日本の教育里親様や友人、そして多くの方々からの支援はかけがえのないものです。私は教育里親様としてお世話になったロータリアンの方々その他知合いの日本の方々から支援を頂きながら現在も研究を続けているほか、日本とスリランカの様々な交流活動に携わっております。

私が奨学生のころ、当時米山奨学生委員長、中村様の依頼で、大網RC、我孫子RC、柏東RC、千葉東RC、松戸東RC、船橋RCなどを訪問し卓話をする機会をいただきました。大網RCは、四之宮様のご尽力でRCとして初めて、日本とスリランカの大きな架け橋になってくださいました。

大網RCと共に柏東RCの会員の方々は、2014年に初めてスリランカへいらっしゃって、スリランカと交流が始まりました。現在、大網RC、柏東RC、松戸西RCや八千代RCは、スリランカの貧しい家庭の大勢の子供たちに教育支援、また多くの家族に食料支援をいただいております。その上、柏東RC、大網RCの会員の方々は毎年スリランカを訪問してくださり、コスモス奨学金式にご参加くださり、子供達の家庭を訪問してくださっています。これらの皆様方の善意は、スリランカ人にとって大きな力になっており、スリランカの大勢の人々は日本のロータリアンに心から感謝しております。

大網RCは毎年奨学生達に食糧支援をくださっています。また、柏東RCは、スリランカのコスモスセンターの中に貧しい家庭の子供達のために柏東図書室を開設してくださり、大きなご支援をください

ました。

松戸西RCは、スリランカの内戦で被災した、大変貧しい家庭の子供達が通っている田舎の学校に「松戸西ロータリークラブ音楽室」を寄付してくださいました。スリランカの子供達は日本のロータリアンを心より尊敬し感謝しております。

私はロータリー奨学金をいただけなかったらこのようにロータリアンと接触する機会がなかったはずです。

また、千葉県内の多くのクラブの皆様が、スリランカ国内においての支援活動をされています。それと別に、スリランカの貧困の子供達への奨学事業などの里親になって支援活動をされているロータリアンの里親さんもたくさんいらっしゃいます。（柏東RC・松戸西RC・大網RC・八千代RC・市川南RCの浄水器支援も大変貧しい地域の人達がきれいな水を飲むことができ大変素晴らしい活動になります。）皆様のおかげで貧しい家庭の優秀な子供たちは学校に通っています。

今回は、君津RCからご支援をくださって、ポロンナルワ地域の学校の子供達に浄水器を寄付することができます。今まで汚いお水を飲んでいる子供達は来年の1月から君津RCの皆様や柏東RC、また里親のご支援頂く皆様のおかげで美味しいお水を飲むことができます。君津クラブの鈴木さんをはじめ、皆様のおかげで浄水器を寄付するチャンスができました。

スリランカでは小学校から大学まで授業料は無料になっております。しかし、学用品を買わないといけません。30年ほど内戦が行われたスリランカには仕事がない人達も沢山おります。勉強がしたくても家庭が経済的に困っているため、学校に通えない子供達がスリランカには大勢おります。スリランカ全国には教育レベルが高い優秀な学校が多くあります。内戦が終わってから現在、社会や経済の変化によって問題が起きており、このような状況の中で子供の勉強のために必要な学用品が買えなくて困っている子供達が大勢おります。

私は小学校5年生の奨学金試験に合格し、コロombo市内の有名な中学校に進学しました。貧しい家庭で生まれた私が首都の学校で勉強できるかどうか大きな問題でした。当時、祖父母が近所の田んぼで稲刈りなどの手伝いをして、どんなに困ったことがあっても私と姉に首都の学校で勉強させたいと言われ、私達二人を首都の学校に行かせてくれたので一生懸命に勉強しました。

中学校2年生の時に試験で優秀な成績をおさめたので、学校の校長先生が日本の里親さんを紹介してくださいました。日本の里親さんから奨学金をいただきました。日本の里親さんのおかげで、日本に留

学し、博士課程を修了することができました。

私のような子供達がまだまだスリランカには大勢います。その恩返しに里親さんに感謝しながらスリランカに住んでいる貧しい家庭の優秀な子供達に支援してあげたいという気持ちで鈴木康夫先生に相談しました。その結果、私は留学した時から今まで大変お世話になっている、元校長先生でいらっしゃる鈴木先生のおかげで、スリランカの子供達を支援するコスモス奨学金基金という奨学金支援団体が始まりました。

鈴木先生が代表で11年前にコスモス奨学金を始め、優秀であるが貧しい家庭の子供達に奨学金を与えるボランティア活動を始めました。その子供達を選んで奨学金をくださっているのはコスモス奨学金基金の日本の里親さんです。コスモス奨学金は、優秀だが経済的に大変困っている子供達を支援するボランティア団体です。現在250名の子供達が日本の里親さんからコスモス奨学金をいただいております。スリランカの子供達がいくら苦しいことがあっても将来の夢を持って、その夢を叶えるまで頑張っております。三食が食べられない子供達が大勢おります。学校でお友達のご飯を分けてもらって食べる子供もいます。また、鉛筆やノートなどもないため、友達と共通で使う子供も多く見られます。

コスモス奨学金をいただいている子供達の家庭を訪問する里親が子供達の健康や食糧まで考えてくださっています。里親さん達は教育支援とは別に食糧や医療なども考えていらっしゃいます。

ロータリー奨学金をいただいた時から、奨学生を終了して学友になって今まで、素晴らしいロータリアンの優しいお心、親切なお言葉は、私がスリランカに帰っても忘れることができません。今まで大変お世話になりましたこと、ロータリアンの皆様にも心からお礼申し上げます。

ロータリー奨学金が終わっても学友として、これからもロータリアンの皆様方との交流を大切に、日本とスリランカの懸け橋になって交流を続けたいと思います。今後もよろしくお願い申し上げます。ロータリアンの皆様のご健康とクラブのますますの発展を心より祈っております。

仏様の御加護がありますようにお祈り致します。

サジーワニー ディサーナーヤカ

松戸西RC奨学生（2011年～2013年）

[学友]

研究先：千葉大学人文社会科学研究所特別研究員

仕事先：山武市 総務部 市民自治支援課

地域まちづくり支援員

ニコニコBOX

隈元 雅博 私もそうですが、毎年行われる箱根駅伝、全国サッカー選手権、全国高校野球大会を楽しみにしていられる方も少なくないと思います。全力を尽くす姿に感動し、涙することもあるのではないのでしょうか。私達に感動を与えてくれて、希望、生きがいとなっている世界中の子供たちの今と将来が輝くよう、これからもロータリー活動を頑張ります。～Think Glocal～（シンク グローカル）「地域貢献と世界平和活動の両立」を共に目指して行動しましょう！

荒井潤一郎 ここの所、土日での移動例会等、ロータリー行事が立て込んでいますが、皆様のご協力に感謝します。今後ともよろしくお願い致します。誕生祝い、ありがとうございます。大住委員長、スリランカ大変お疲れ様でした。腰を大事にして下さい。昨日米山設立50周年の祝賀会に参加して来ました。胸打たれる話を聞いて来ました。10日に届くであろうお花を楽しみにしております。私の記念日ありがとうございます。

岡野 祐 2月3日52才になりました。まだまだ若輩者です。皆様、これからもご指導よろしくお願い致します。誕生祝い、ありがとうございます。

大浦 芳弘 誕生日のお祝いありがとうございます。

高橋 雄一 節分を開けて、今年も頑張ります。と毎年思います。

永嶌 嘉嗣 一昨日、中学校の同窓会がありました。なつかしい人と一緒にずい分楽しくたくさん飲みました。内藤さん、早めに車を出して頂きたすかりました。私の記念日ありがとうございます。

喜多見 貴 2月3日に記念日のお花をいただきました。ありがとうございます。妻も大変喜んでおりました。まだまだ寒い日が続いているので体調管理に引き続き注意していこうと思います。

村上 進

秋元 政寛

福田 順也

鈴木 莊一

近藤 洋子

原田 健夫

中野 賢二

佐々木昭博

西山 肇

釧持 純一

黒岩 靖之

大住 昌弘

北見 洋司

吉田 雅彦

皆様こんにちは。いつの間にか2月に入ってしまった。本当に時間が経つのが早いです。気合い入れて頑張ります。

インフルエンザがあちこちで流行しています。手荒い、うがい、十分な睡眠・栄養と共に笑うことを心掛けて健康を保ちたいと思います。

立春を迎えました。寒い日が続きます。体調管理に気を付けます。

2月17日にスリランカセミナーを開催します。時間が空いていたらご参加よろしくお願ひします。

寒さの中、庭で育った小松菜は小ぶりながら、とても美味しく、元気をもらいました。

大住会員、貴重な卓話をありがとうございました。君津RC活動が国際的になっていくのを実感しています。

おなかがいっぱいになって、背中はおかおかで眠くなってきました。春が近づいてきている感じがします。

来週はいよいよRYLAの本番となります。実行委員としてしっかり働いて来たいと思います。

大住様、卓話ありがとうございます。

週末に髪の毛を切ったら背すじが寒く、少々かぜ気味です。体調管理に気をつけます。

木更津法人会女性部会長富士子ちゃん！木更津法人会女性会40周年おめでとう！今後も会員皆様との信頼・親睦を深めながら地域貢献に御尽力くださいますようご期待申し上げます。ケンチャン応援しています！

インフルエンザと私用のため例会・IMと出席できず、すみませんでした。3週間振りの例会へニコニコ。

スリランカ訪問の報告をさせて頂きました。初めてのパワポで話すすべりまくりそうです。一人でも多くの方に救いの手をスリランカの子供達に差し伸べていただき、基金設立を目指しませんか？

先日の新年例会はインフルエンザで欠席しまして大変残念でした。これからは体調管理に気を付けます。

君津に来て2年が経とうとしてお

ります。2月に入りましたが月末が人事異動の発表となります。現段階ではどうなるか全くわかりません。あと2ヶ月か、1年2ヶ月かわかりませんが、ロータリー活動頑張ります。

別府 明人 昨日まで出張で北九州に行っていました。こちらより大分寒かったです。しかし、まだまだ油断出来ない様です。皆様しっかりお気を付けて下さい。

遠田 祐治 2月18日に開催予定の駅伝大会に向け、少し走ってみたところ、わずか数百メートルで右足ふくらはぎを痛めました…年はとりたくないなあ…。

谷 浩司 大住会員、貴重なスリランカの話、ありがとうございました。このようにお話がきける事で、読みきく以上に学ぶ事ができました。

谷口 弘志 大住委員長、スリランカ訪問の報告ありがとうございました。
先月下旬に関東三大本山の二つ、成田山新勝寺、川崎大師平間寺に参拝して来ました。いずれも真言宗の護摩祈祷に参加しましたが、あらゆる煩惱を焼き清めるということで、今年はきっと良い年になるものと期待しています。

倉繁 裕 1月22日に続いて先週、木～金曜日に積雪になり、週末予定のゴルフがクローズでスキップとなりました。本年はまだ関東地方の雪がありそうとのことで、いろいろな面で雪への備えが要りそうです。

大森 俊介 社員、社員家族でインフルエンザ型が流行っています。手洗い、うがいをしてしっかりして予防に努めます。

